



この度、日本国際フォーラム（JFIR）は、4月12日（火）に**ユアン・ミルチャ・パシュク（Ioan Mircea PASCU）元欧州議会副議長**（略歴別添）を講師にお迎えし、「ウクライナ戦争：その重みと予想されうる結末」と題して講話を頂くこととなりました。

ロシアのウクライナへの軍事侵略から1カ月以上が経過しました。この間、ロシア軍による攻撃は激しさを増し、多くの市民が犠牲となるなど、もはや無差別攻撃の様相を呈しております。こうした中、北大西洋条約機構（NATO）と主要7カ国（G7）は、それぞれ近く外相会合を開き、ロシアへの対応や追加制裁などについて協議する予定です。今次ロシアによる「力による一方的な現状変更」は欧米諸国のみならず日本も看過することはできません。今こそ、国際社会はウクライナ「支援」に立ち上がるとともに、侵略に至った背景や今後の見通しについて、冷静に分析する必要があるといえます。

そこで今回は、当フォーラムと長年に亘り深い親交があり、欧州議会副議長やルーマニア国防相を歴任し、最高レベルでEUの政策決定に携わってこられたユアン・ミルチャ・パシュク元欧州議会副議長をお招きし、ウクライナ戦争が国際社会にどのように重大かつ深刻な意味をもたらすのか、またいかなる結末を迎えるのか、についてお話を伺います。

当日は、50分ほどパシュク元副議長にお話を伺った後、当フォーラムの組織する「ユーラシア・ダイナミズムと日本外交」研究会の顧問であり、米国外交に造詣の深い**杉田弘毅・共同通信特別編集委員**より米国の視点を踏まえたコメントを頂戴し、その後参加者との意見交換を行います。

司会・進行は、当フォーラム理事兼上席研究員の**渡邊啓貴・帝京大学教授**が担当いたします。

記

1. 日時：2022年4月12日（火）17時から19時（Zoom開室は16時50分から）
2. 開催形式：オンライン形式（Zoomウェビナー）
3. 参加費：無料
4. 使用言語：日本語と英語による同時通訳
5. プログラム
17:00～17:10 開会

17：10～18：00 ユアン・ミルチャ・パシュク元欧州議会副議長より講話

18：00～18：15 杉田弘毅・共同通信特別編集委員よりコメント

18：15～19：00 視聴者を交えた質疑応答・協議

司会：渡邊啓貴 日本国際フォーラム上席研究員・帝京大学教授

6. 申込方法：下記「申し込みフォーム」より、必要事項をご記入の上、事務局宛にご応募ください。

参加ご希望の方はこちらからお申込みください

<本対話に関する連絡先>

日本国際フォーラム事務局（港区赤坂 2-17-12-1301 [TEL:03-3584-2190](tel:03-3584-2190)）
